

一般質問通告書

【第61回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様
 多可町議会議員 吉田 政義



受 領 日	番号
平成26年12月 4日	9
午前・午後 4時 0分	

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. シカの有効活用を促進せよ	町 長
<p>平成25年度多可町内では、狩猟期間外に有害駆除として、猟友会が銃器・わなで34頭、集落事業の箱わなで91頭、交通事故・のり網等の死骸処理で252頭、そして狩猟期間に猟友会が516頭、合計で893頭のシカを捕獲等しています。そして、多可町小規模シカ肉処理加工施設へ36頭、埋設処分115頭、自家消費2頭、焼却処分231頭、猟友会での処分509頭となっております。更に委託料として、狩猟者が加工施設へ搬入費12,000円、集落等埋設処分10,000円、猪名川動物霊園での焼却処分費及び運搬費39,000円となっております。</p> <p>集落等の埋設処分では、場所探しや重機或いは手掘り等の掘削に苦勞をされております。シカを埋設せず有効活用する方法があれば、すべきであります。町内には、シカ肉を活用してペットフードを作ろうとされている特定非営利活動法人「カンピオ」さんがあります。箱わなやのり網で捕獲したシカを「カンピオ」さんに受け入れていただくシステムを作ることも大切だと思います。民間企業への斡旋は難しいといわれるかもしれませんが、その様なシステムを作り、シカの有効活用をすることが大事ではないでしょうか。「カンピオ」さんも費用(加工費用4,000円、電気代他1,000円)が必要です。そこで、今のままの委託料であれば、集落等への委託料10,000円の内5,000円を集落から「カンピオ」さんに支払っていただくというのはいかがなものでしょうか。集落も埋設するよりも「カンピオ」さんに搬入する方が助かると思います。</p> <p>また、交通事故等のシカについては活用可能か目利きが必要であり、「カンピオ」さんを委託事業所として、猟友会と連携していただいたら、シカの有効活用もはかれ、委託費用も軽減できます。</p> <p>町長の見解を伺います。</p>	